



外国出張報告書

平成 27 年 8 月 12 日

1. 出張国名 フィリピン
2. 出張月 平成 27 年 6～7 月
3. 出張目的 国際稲研究所(IRRI)にて、2015 年雨期作の作付けおよび有望系統の種子増殖、2015 年乾期作の収穫物調査などを行う。： A

4. 成果の概要

2015 年の雨期作が 6 月から始まり、収量性・早朝開花性・早生系統の育苗や遺伝子型診断を行い、圃場への移植を無事に完了した。特に、籾数増加系統 SPIKE を東南アジア・南アジアの主力品種に導入した準同質遺伝子系統、早朝開花性の QTL(qEMF3)を東南アジア・南アジア・西アフリカの主力品種に導入した準同質遺伝子系統、感光性の遺伝子を含む早生系統の準同質遺伝子系統については、次期中期計画までに各国のカウンターパートとの共有を計画しており、そのために必要な種子増殖もあわせて開始した。また、2015 年乾期作の早朝開花性系統の試験に関して、乾燥ストレスをかけた圃場から採取した穂試料を用いた不稔調査結果を取りまとめた。